平成24年度(対23年度実績) 事務事						事	業	評	価	表		作成	:日 <u>五</u>	平成 24	4 年	5 月	16 日
部局名 上下水道局 所属名 給排水相談課							所属長名 竹平			裕二 電話 48			483-6156				
1. 事	務事業の位	置付け・概要	(PL	AN)													
コード 9920 事務事業名称 水道		水道料	金及び下れ	水道使用料	徴収費(2	仅費(水道事業_収益的支出)				短縮	コード	経常	9920	臨時			
予算区分	会計 63	水道事業会計_収益	的支出	款 01	水道事業	費用		項	01	営業費	門	目	04	業務費			
区分	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			八千代市	水道事業	給水条	例等										
事業概	要(事務事業を	·開始したきっかけ	を含めて	記入)	,												
給水約昭和り	58年度から事	同施行規程第166 業管理者に事務をき 共下水道事業会計の	委任する	規則に従レ	`, 下水道位	使用料を信	并せて徴	収する。)								
事務事	業を取り巻く状	況の変化 又、今	後の変化	の推測			6本の)柱(章	:)	05 第5章快適生活都市をめざして							
給水件数	枚の増加に伴う	業務量の増加及び	ニーズの	多様化。			大項	目(節))	03	第3節水道						
						総合計画	中	項目		01 1	. 水道						
						の施策	小	項目		01	(1)水道の運営基盤の	向上					
						体 系 	体 系 細項目			03 (③水道事業の健全経営						
							実施	計画	の								
								画 事 第									
計画車業	どの位置付けの	右無		計画	事業 期間	月		~			計画事業費					=	- 四

2. 事務事業の目的・指標・実績(DO)

2. 子奶子不少自己 旧体 入侵(20)							
対象 (誰を何を対象にし ているのか)	水道使用者 公共下水道使用者						
手段 (具体的な事務事業	※平成23年度に実際に行ったこと: 債務負担行為により3ヶ年の業務委託契約をした。 隔月に水道使用量を検針し水道料金及び下水道使用料を賦課・徴収・収納・消込業務。 委託業務内容について、適正に業務が遂行されているか委託会社の監査をした。						
のやり方、手順、詳 細)	※平成24年度に計画していること: 隔月に水道使用量を検針し水道料金及び下水道使用料を賦課・徴収・収納・支出・消込業務。 委託業務内容について、適正に業務が遂行されているか委託会社の監査を行う。						
意図 (何を狙っているの か)	水道料金等を遅滞なく徴収する。						
ねらい(上位施策の 意図)	入力対象外						

区分			単位	2 2 年度	2 3	2 4 年度	
				実績	計画	実績	計画
	指標 1	給水件数	件	81, 375	81, 400	81, 694	82, 000
対象指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1	水道料金を収納する	円	3, 007, 377, 161	2, 995, 898, 596	2, 981, 818, 084	2, 988, 954, 370
活動指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1	水道料金の収納率	%	92	100	91. 9	100
成果指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1						
上位成果指標	指標 2						
	指標3						

⊐ -	-ド	9920	事務事業	 名称	水道料金及び下水道使用料徴収費	(水道事業_収益的支出)	所属名	給排水相談課			
				単位	2 2 年度	2 3 年度				2 4 年度	
	#			丰田	実績	計画		実績		計画	
			国	千円							
			県	千円							
	財源内訳	内訳	地方債	千円							
_			一般財源	千円	224, 017	209, 127			207, 974	213, 929	
事業			その他	千円							
費 (A)	主な事業費の内訳			八千代市水道・下水道事業検針 及び収納事務並びに支出事務委 託料 213,254千円	八千代市水道料金・下水道使 用料徴収等業務委託料 198,061千円	八千代市; 料徴収等; 197, 369千	業務委託料	下水道使用 }	八千代市水道料金・下水道使 用料徴収等業務委託料 202, 492千円		
人件費(B)				千円	33, 440. 7	26, 220. 7			29, 852. 9	28, 925. 4	
トータルコスト(A)+(B)			(A) + (B)	千円	257, 457. 7	235, 347. 7			237, 826. 9	242, 854. 4	

3. 事務事業の評価(SEE)

3.	事務事業の評価(SEE)							
評価 類型	評価事項	評価区分	理由					
		☑ 結び付いている	上位政策「快適生活空間都市をめざして」を推進するため「水道の運営基盤の向上と水道事業の健全経営」を事業推進しており、結びついている。					
	①事業目的が上位の施策に結びつ	□ 結び付くが見直しの余地がある	また、水道料金の収納率を向上させ、安定した歳入を確保する事は、上位施策の推進につながる。					
	いているか?	□ 結びつきが弱い・ない						
		☐ 評価対象外事項						
		□ 達成している	徴収率100%を目標に業務を進め、経営基盤の安定を図る。					
	②すでに所期目的を達成しているか?	☑ 達成していない						
目的妥业	※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。	□ 評価対象外事項						
性	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	公益性の強い事務事業である為民営化には向かない。					
	※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。	☑ 可能性はない						
	(民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	□ 評価対象外事項						
		☑ 現状のままでよい 経営基盤の安定の為、対象・意図は現状のままで良い。						
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 見直す必要がある						
		□ 評価対象外事項						
		□ 有効性向上の可能性がある						
	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2,	☑ 効率性向上の可能性がある						
	3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	□ 両方可能性がある						
	入する。 	□ 可能性がない						
有	⑤-2 有効性や効率性を向上さ	□ 民間委託等	口座振替の積極的な推進を図る。					
	せる手段は何か? 該当する手段を選択し、	□ 再任用職員及び臨時的任用職員等 の活用						
効率	具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」	☑ IT化等の業務プロセスの見直し						
性	である場合は、該当する類 似事業を記入する。	□ 受益者負担の見直し						
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 1 実施主体 (所管部署)					
		□ 上記以外の方法	事業 実施主体 (所管部署)					
	⑤ー3 推進にあたっての課題はあ	□ ある						
	るか?(一時的な経費増・市 民の理解等)	☑ ない						

	I [*] 0000 市圾市 米5 Th							
	- ド 9920 事務事業名称	水道料金及び下水道使用料徴収費(水道事業_収益的支出) 所属名 給排水相談課						
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	② 改革・改善して継続 平成22年度に契約内容を見直し、長期継続契約を結び契約単価の削減と事務の簡素化を図っている。また、口座振替の推進に努める。 □ 事業規模の拡大・縮小 □ 未完了 一 □ 事業完了 現状のまま継続						
ΙΞ	⑦この事務事業の今後の経費・成果 の方向性について選択し、右欄に理 由を記載する。	K 費 成果 向上 □						
※内	この事務事業に対する市民や議会の意見(担当者が把握している意見) ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など 未収金の早期回収に努めるよう議会、監査等で意見が出ている。							
所属長コメント								
評価調整委員会評価	 ② 改革改善して継続 ② 手法プロセスの改革・改善 事業規模の拡大・縮小	期継続契約の口座振替強化や積極的な滞納整理など収納率の向上を検討すること。						